

1) システムの名称：

HumanBridge EHR ソリューション (ヒューマンブリッジ イーエイチアール ソリューション)

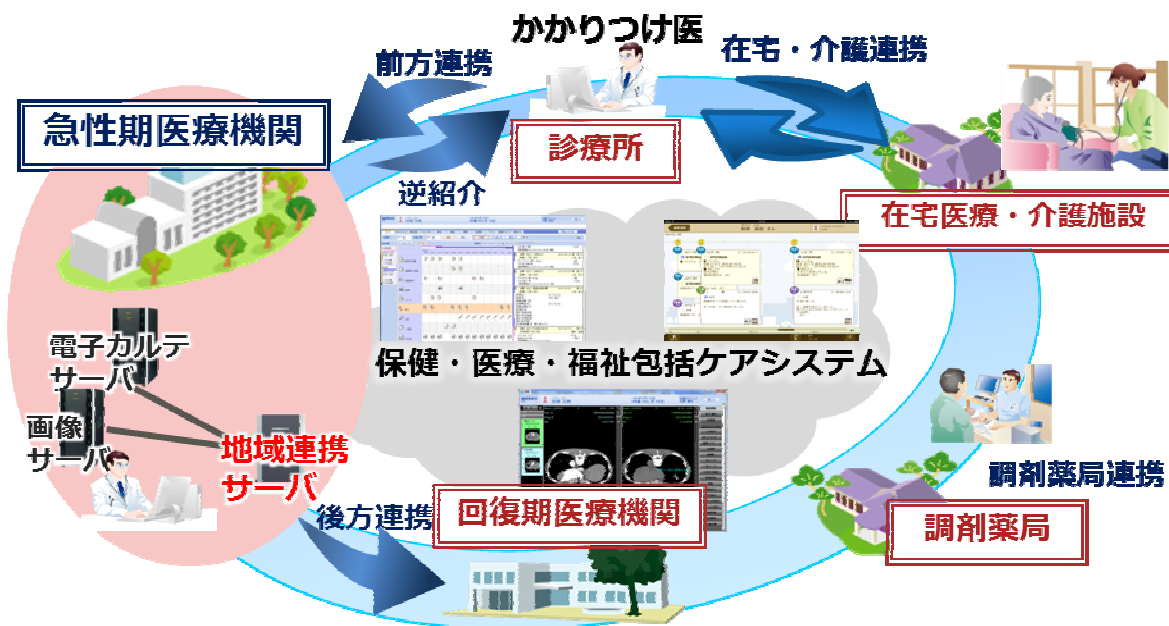
2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け：

16. 地域医療情報システム他

3) 特色：

1. 診療情報を共有・統合し、双方向の医療ネットワークを実現
連携先の医療機関に、医師の記載、オーダー、検査結果、画像、レポート、プロフィールなどの診療情報を提供することが可能です。これにより前方連携では、紹介先の中核病院での治療計画の全てを確認することが可能になり、後方連携においても患者様が安心できる申し送りができます。
2. 地域環境に最適なネットワーク構成へ柔軟に対応
お客様の環境に合わせたネットワーク構成に柔軟に対応いたします。中継センター機能を当社のデータセンターを利用いただく SaaS 型、または、地域の各データセンターや医療施設内などお客様側に設置させていただく拠点設置型の対応が可能です。
3. 医療連携に必要な業務ワークフローを豊富なコンテンツによりサポート
コストパフォーマンスに優れた充実のコンテンツによる、地域完結型医療を強力にサポートいたします。診療所や介護施設などは、インターネットに接続できる環境があれば、簡単なセットアップのみでシステムを利用することが可能です。
4. 地域包括ケアシステムの実現をサポート
モバイル端末より、いつでもどこでもサービスを利用することができ、入力した情報を HumanBridge EHR ソリューションとリアルタイムに連携することができます。これにより、病院の診療情報と患者さんの自宅で実施したケアの情報を一元化することが可能です。在宅医療の充実等にむけた地域包括ケアシステムの構築を支援します。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明：



<機能一覧>

■診療情報連携機能

- ◆カルテ参照 (診療/画像データの抽出インターフェース・経過記録/オーダー表示・プロフィール表示・検歴表示・病名表示・経過表表示・薬歴表示・サマリ表示・薬品情報データベース)
- ◆患者メモ (テキスト入力・添付機能) ◆画像参照 (画像表示・レポート表示) ◆情報開示条件表示
- ◆患者ID紐付け ◆紹介状作成 ◆返書 (報告書) 作成 ◆オンライン診療予約 ◆セキュアメール
- ◆地域連携パス (リマインダー・地域パス統計) ◆通知機能 ◆アクセスログ/分析 (オプション)
- ◆画像参照 (波形表示) ◆在宅ケア ◆アップローダー ◆遠隔画像診断 (レポート作成・シェーマツール・レポート出力)

■地域連携室支援機能

- ◆紹介状登録 ◆紹介患者管理 ◆預り品管理 ◆医療機関検索 ◆宛名ラベル印刷 (紹介、返書、お知らせ)
- ◆統計表出力 ◆CSV出力

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

(1) マスタ/コード体系

- 各医療機関の SS-MIX-2 標準化ストレージにて採用されている以下のマスタに対応しています。
MEDIS-DC 標準病名マスタ (ICD10)、検査マスタは日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード (JLAC10)
画像検査マスタは JJ1017 画像検査コード Ver3、医薬品 HOT コードマスター (HOT9)

(2) データ交換規約

- SS-MIX ストレージ利用範囲：データ連携 (参照含む)
各医療機関の診療情報については、HIS、レポートシステム等より SS-MIX 標準化ストレージに出力いただくことで、相互参照が可能となります。

以下のデータ交換規約に対応しています。

JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3.0、JAHIS 放射線データ交換規約 Ver. 2.2、JAHIS 処方データ交換規約 Ver. 2.0、
JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver. 1.0

- PACS に格納された DICOM 画像については DICOM Q/R によりデータ取得が可能です。
■診療情報提供書規格 (医療機関への紹介状) については、HL7CDA Release2 に基づく実装を行っています。

(3) データ交換手法：TCP/IP ソケット会話及び FTP を中心に実装

(4) IHE-J コネクタソン実装 (合格プロファイル名)：

3つの統合プロファイルで合格 (GT/PAM/PDQ)

(5) 標準化未対応の場合、対応可否および追加費用の有無を記載

追加対応：可 (お客様個別対応)、追加費用：有

(6) 厚生労働省標準規格 (医療情報標準化指針) への対応

- ・HS001 医薬品 HOT コードマスター
医薬品 HOT コードマスター (HOT9) にて出力された薬品情報の
検索機能を有しています。
- ・HS005 ICD10 対応標準病名マスター
標準で採用しています。
- ・HS007 患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書 (患者への情報提供)
本規格に基づき HL7CDA R2 形式の患者診療録情報提供書及び電子診療データ
提供書の出力が可能です。
- ・HS008 診療情報提供書 (電子紹介状)
本規格に基づき HL7CDA R2 形式の診療情報提供書の出力が可能です。
CD 出力は HS007 の規格に基づいています。また、HL7 Ver. 2.5 形式でのデータ出力機能を標準装備しています。
対象データは患者基本情報、処方情報、検体検査結果、病名情報です。
- ・HS011 医療におけるデジタル画像と通信 (DICOM)
- ・HS012 JAHIS 臨床検査データ交換規約
- ・HS014 臨床検査マスター
- ・HS017 HIS・RIS・PACS・モダリティ間予約・会計・照射録情報連携 指針 (JJ1017 指針)
臨床検査依頼 (OML)、臨床検査結果 (OUL) のメッセージに対応しています。

6) 動作環境 (ソフトの場合)、ハードスペック (ハードの場合)：

「OS」サーバ：Windows Server 2008 クライアント：Windows Vista, Windows7, Windows8, Window10 (予定)
「機種」サーバ：富士通 PRIMERGY シリーズ クライアント：富士通 FMV シリーズ他

7) 稼動までに必要な作業・期間：

システム規模によるため要問い合わせ。3ヶ月から。

8) 価格 (桁数 (日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い)：

システム規模によるため要問い合わせ。10百万～。(税抜)

9) 保守の内容と費用：

システム規模によるため要問い合わせ。月額10万～。(税抜)

10) 問い合わせ先 (販売会社 担当者、URL、e-mail 等) および開発元 (もし別途あれば)：

富士通株式会社 ヘルスケアビジネス推進統括部
第二ヘルスケアビジネス推進部 TEL：03-6252-2572
関連ホームページ <http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/healthcare/>
(富士通ヘルスケアソリューション紹介ホームページ)